

健診管理に新バージョン

テクノア、小規模医療機関向け

業務用ソフトウェア開発のテクノア(岐阜市本荘中ノ町、山崎耕治社長)は10月1日、小規模医療機関向けに、健康診断のデータ管理システムの新バージョン

を発売する。健診の各種データに加え、企業の定期健診の予約や費用請求のデータが管理できる。新バージョンは「iD Heart Ver.3 S(アイディーハートバージョンスリーエス)」。

予約状況の把握など、必要な機能を選んでカスタマイズもできる。販売価格は33万円からで、操作方法の問い合わせに対応するサービスも提供する。

健康診断の受診結果の入力画面

同社によると、小規模医療機関ではニーズに合うシステムがないとして、健診のデータ管理を紙で運用している事例が多いといい、健診のデータ管理のデジタル化や、健診業務の参入を検討する医療機関のニーズを見込む。